

保護者説明用

須坂市におけるGIGAスクール構想



令和3年（2021年）4月
須坂市教育委員会・須坂市校長会

「須坂市におけるGIGAスクール構想」により目指す3つの学び

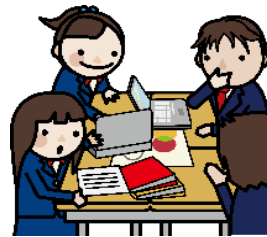
一人一台端末をはじめとするICTの活用

個別最適化
された学び



個性、多様性の尊重

協働的な
学び



多くの考えに触れる
協働的な学び

探究的な
学び



今日的な課題
実生活に関わる課題

須坂市におけるGIGAスクール構想 一人一台端末をはじめとするICTの活用



子ども達の学びが変わります

GIGAスクール構想による「一人一台端末」「高速通信回線の整備」により、学習に使うデータは、基本的にインターネット上で行うこととなります。



このための環境整備、児童生徒へのアカウントの配布により、主に次のことが実現できます。

- ◆学びのためのデータが変わる【文字、紙→画像や動画、デジタル】
- ◆授業が個別最適化される【画一的 → 個々の習熟に応じた授業展開】
- ◆家庭学習が変わる【学校と家庭の違いを意識する必要のない接続】

一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子ども達の興味・関心を高めることが可能となります。

教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となります。

個に応じる学習



一人一人の習熟の程度に応じた学習

調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画による記録

思考を深める学習



シュミレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

表現・製作



マルチメディアを用いた資料、作品の製作

協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子ども同士による意見交換、発表など、お互いを高め合う学びを通じて、思考力・判断力・表現力等を育成することができます。

発表や話し合い



グループや学級全体での発表、話し合い

協働での意見整理



複数の意見、考えを議論して整理

協働製作



グループでの分担、協働による作品の製作

学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

校内ネットワークを活用した学習

- ▶ 自分の考え（データ）を友達に送る
- ▶ 自分のデータと友達のデータを合わたり比べたりしてさらに自分の考えをふかめる
- ▶ 自分と友達と協力しながら、皆で考えをまとめふかめる



デジタル教科書等ICTの活用で、学校の授業を再現したり個に応じた学習が可能

宿題

◆デジタル教科書や授業動画等で授業内容を確認しながら、宿題に取り組むことができます。宿題が終わったら、先生に「宿題完了」のメールを送ることができます。

◆持ち帰った端末を使って、明日の授業内容をデジタル教科書や授業動画等で視聴し、分かったことや疑問点などをはっきりさせて授業に臨むことができます。

予習

自主学習

◆eライブラリ等で得意な教科の発展問題や入試問題、各種検定問題に取り組む等、学年を超えて学習を進めることもできます。



須坂市GIGAスクール構想 推進委員会

ハード面の整備 とサポート

- 一人一台端末整備
- クラウドサービスの運用
- WEB会議システムの整備とYouTubeチャンネルの運用
- ICT支援員による学校支援

校務システム化 の整備

- 報告文書の一元化
- 健康観察のシステム化
- 各種アンケートの実施体制の整備
- 教育相談一元化、相談履歴の累積
- 学校と家庭の連携体制の整備

情報モラル 危機管理

- 情報モラル管理体制の整備
- 不登校、不応答生等への支援体制の整備
- 特別支援学級等への支援体制の整備
- 臨時休校、分散登校等への対応

「新たな学び」 の構築

- ICTを活用した新たな学びの構築
- ICTを活用した家庭学習の構築
- CBTシステムを活用した評価の研究
- 交流授業の試行
- 大学等と連携した研修体制の整備

須坂市GIGAスクール構想

市内全学校がネットワークでつながる

◆オンラインでの交流学习 ◆学校間での共同学習

2年間かけて構築していきます

**タブレットを使うことを目的にするのではなく
子どもたち一人一人にあった学び
一人ではなく 共に学びを深めていくために**

